

妊娠・出産と母子の長期経過についての縦断研究

スタディサイト

あゆみ

春日 矢島 瀧澤 葛飾

主任研究者:三砂ちづる(津田塾大学)

スタディサイトID

お子さんの誕生日 200 年 月 日

I 「育児の印象」について、あなたのお考えやお気持ちに最も近い番号を選んで、○を付けてください。どちらとも決められず、迷うこともあるかと思いますが、必ずどれか1つにお答えください。

ここには記入しないでください

	その通りである	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	code
1. 育児に自信が持てない	1	2	3	4	ikuj1
2. 母親として不適格と感じる	1	2	3	4	ikuj2
3. 子どもをうまく育てていると思う	1	2	3	4	ikuj3
4. 育児についていろいろ心配なことがある	1	2	3	4	ikuj4
5. 子どものことでどうしたらよいかわからない	1	2	3	4	ikuj5
6. 子どもを理解できていると思う	1	2	3	4	ikuj6
7. 子どものことがわずらわしい	1	2	3	4	ikuj7
8. 他の子どもと比べて不安になる	1	2	3	4	ikuj8
9. 子どもを育てることが負担である	1	2	3	4	ikuj9
10. つい、子どもに八つ当たりしてしまう	1	2	3	4	ikuj10
11. 私はいつもイライラしている	1	2	3	4	ikuj11
12. たいした理由もなく叱ってしまう	1	2	3	4	ikuj12
13. 子どもを虐待しているのではないかと思う	1	2	3	4	ikuj13

II あなたが現在、パートナーに対して感じておられることをおきかせください。以下の5項目について、最も当てはまる番号に○を付けてください。

	当てはまる	どちらともいえない	当てはまらない	code
1. パートナーを深く尊敬している	1	2	3	ml5_1
2. パートナーは魅力的な男性だと思う	1	2	3	ml5_2
3. パートナーのためなら何でもしてあげるつもりだ	1	2	3	ml5_3
4. パートナーとは今でも恋人同士のようだ	1	2	3	ml5_4
5. パートナーといると本当に愛していると実感する	1	2	3	ml5_5

III 現在あるいは、この2ヶ月間のお子さんについてお伺いします。お子さんの様子に当てはまる番号に○を付けてください。

	当てはまる	どちらともいえない	当てはまらない	code
1. かんしゃくをおこす	1	2	3	cbcl5_1
2. 怒りっぽい	1	2	3	cbcl5_2
3. よくすねる	1	2	3	cbcl5_3
4. 頑固	1	2	3	cbcl5_4
5. 気分や感情が急にかわる	1	2	3	cbcl5_5
6. ぐずぐず泣く	1	2	3	cbcl5_6
7. 要求が叶えられないと気が済まない	1	2	3	cbcl5_7
8. よく泣く	1	2	3	cbcl5_8
9. 言うことをきかない	1	2	3	cbcl5_9
10. 反抗的である	1	2	3	cbcl5_10
11. いつも通りでないと機嫌が悪い	1	2	3	cbcl5_11

次のページに進んでください

	当てはまる	どちらとも いえない	当てはまらない		code
12. 待ってられない	1	2	3	cbcl5_12	
13. いつも構ってもらいたがる	1	2	3	cbcl5_13	
14. うらやましがる	1	2	3	cbcl5_14	
15. よくキイキイ声をあげる	1	2	3	cbcl5_15	
16. 自分の殻にこもる	1	2	3	cbcl5_16	
17. 人に親しみを表さない	1	2	3	cbcl5_17	
18. 愛情を示しても反応しない	1	2	3	cbcl5_18	
19. まわりに関心を示さない	1	2	3	cbcl5_19	
20. 活発でない、元気がない	1	2	3	cbcl5_20	
21. 楽しそうでない、沈んでいる	1	2	3	cbcl5_21	
22. 活動的な遊びを拒否する	1	2	3	cbcl5_22	
23. 他の人と目を合わせない	1	2	3	cbcl5_23	
24. 理由がないのにふさいでいる	1	2	3	cbcl5_24	
25. 子どもたちとうまくやれない	1	2	3	cbcl5_25	
26. 人が話しかけるときの答えがない	1	2	3	cbcl5_26	
27. 協力的でない	1	2	3	cbcl5_27	
28. 家の外に出たがらない	1	2	3	cbcl5_28	

ここ1週間のあなたの気持ちや状態について最も近いものを、いずれか1つだけ選んで、○を付けてください。どちらとも決められず、迷うこともあるかと思いますが、必ずどれか1つにお答えください。

	その通りである	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない		code
1. 気分が沈んで憂うつだ	1	2	3	4	sds5_1	
2. 朝は、気分がいい	1	2	3	4	sds5_2	
3. 些細なことで、泣きたくなる	1	2	3	4	sds5_3	
4. 夜、よく眠れない	1	2	3	4	sds5_4	
5. 食欲がある	1	2	3	4	sds5_5	
6. 性欲がある	1	2	3	4	sds5_6	
7. 最近痩せてきた	1	2	3	4	sds5_7	
8. 便秘している	1	2	3	4	sds5_8	
9. 動悸がする(胸がドキドキする)	1	2	3	4	sds5_9	
10. 何となく疲れやすい	1	2	3	4	sds5_10	
11. 気持ちはいつもさっぱりしている	1	2	3	4	sds5_11	
12. いつもと変わらず仕事(身のまわりの事)ができる	1	2	3	4	sds5_12	
13. 落ち着かず、じっとしてられない	1	2	3	4	sds5_13	
14. 将来に希望(楽しみ)がある	1	2	3	4	sds5_14	
15. 迷わず物事を決めることができる	1	2	3	4	sds5_15	
16. 役に立つ人間だと思う	1	2	3	4	sds5_16	
17. 今の生活は充実していると思う	1	2	3	4	sds5_17	
18. 自分がない方が、他の人は楽に暮らせると思う	1	2	3	4	sds5_18	
19. 今の生活に満足している	1	2	3	4	sds5_19	

以上で質問は終わりです。ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

平成 16 年度厚生労働科学研究：妊娠・出産と母子の長期経過についての縦断研究

2005 年 2 月 23 日（水）場所：自由学園明日館

研究班会議 名簿（敬称略）

名前	所属	出欠
小林 秀資	長寿科学振興財団	欠席
榊原 洋一	お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター	出席
菅原 ますみ	お茶の水女子大学文教育学部	出席
竹内 正人	葛飾赤十字産院	出席
丹後 俊郎	国立保健医療科学院	欠席
福島 富士子	国立保健医療科学院	出席
野口 真貴子	東京大学大学院	欠席
瀧澤 和子	瀧澤助産院	出席
左古 かず子	あゆみ助産院	欠席
大牟田 智子	春日助産院	出席
矢島 床子	矢島助産院	欠席
榊森 とも子	葛飾赤十字産院	欠席
三砂 ちづる	津田塾大学	出席
嶋根 卓也	順天堂大学衛生学	出席
竹原 健二	国立保健医療科学院専門課程	出席

厚生労働科学研究班会議資料 ～研究の進捗状況などについて～

I. 調査の現状

2002年4月に1459人を対象にベースライン調査を実施し、そのうちの1190人の協力によりコホート研究を開始して以来、4ヶ月・9ヶ月・1歳6ヶ月と3度にわたるフォローアップ調査を実施してきました。そして2005年2月現在、子どもが2歳6ヶ月になった母親を対象に、4回目のフォローアップ調査を実施しています。

本研究に関わっていただいたインタビュワーは30名以上になります。そして、現在では14名のインタビュワーによって実施されています。そのうちほとんどのインタビュワーが1年半以上継続して本研究に携わっていただいております。

対象者については、追跡開始時より徐々に脱落者は出ており、現在のところ368人（ベースライン調査の31%）の脱落が確認されています。より精度の高い調査結果を得るためにも、対象者の脱落をできるかぎり防ぐことが必要だと考えられます。

コホートから対象者が脱落するのを把握できるのは、ほとんどの場合においてインタビュワーが対象者にフォローアップ調査の協力を依頼するために連絡をとった時です。脱落をする主な理由としては以下の2点が挙げられます。

1. 転居などにより、連絡先が分からなくなったため
2. 仕事への復帰など、生活環境の変化により「忙しい」と断られたため

対象者の脱落を防ぐために、インタビュワーには調査協力の継続をできるだけ粘り強く交渉していただいております。しかし、「時間がないから」などの理由で調査への協力を断られてしまうこともあるようです。

II. 現在、抱えている問題点

本研究は対象者とインタビュワーが直接顔を合わせて調査を実施する方法を採ってきました。しかし、対象者の中には「忙しい」などの理由でインタビュワーと会う時間を作ることを拒まれる方もいます。それらの対象者の脱落を避けるために聞き取り式の調査票については電話で回答してもらい、自記式調査票については対象者に郵送して回答してもらうという方法を採用しています。そこで、現在は調査方法が一律ではないという問題があり、また、個々の調査票がどういった調査方法によって実施されたのかということについて、把握する方法がありませんでした。そこで、インタビュワーに調査票の左上に実施方法について記載してもらい、4回目（2歳半）の調査の途中からは把握できるように改善しました。この結果をもとに、回収された調査票の何割が電話などで実施されたのかを検証する予定です。しかし、一度でも電話と郵送による調査方法で協力してくださった対象者は、次の調査時にも電話と郵送であれば調査協力をしたいとリクエストしてくることも多く、徐々に調査票全体における電話と郵送による実施の割合が高まってくるのが予想されます。

調査の実施に関しては、もう一つ問題点があります。それは一人の対象者に対して、必ずしも同一のインタビュワーが継続して調査を実施していないということです。基本的には対象者に

は一人のインタビュワーが継続して調査をおこなえるように配慮しています。しかし、インタビュワーをやめてしまったり、仕事などの都合で1ヶ月あたりの協力していただける件数が変動したりといった理由により継続し続けることが難しいのが現状です。実際に、インタビュワーからは、継続して調査に伺っている対象者とは徐々にコミュニケーションがスムーズに取れるようになるなど、調査が実施しやすくなることが報告されています。対象者とインタビュワーとの関係性が調査結果に及ぼす影響について検討し、必要であれば何らかの対応をとる必要があると考えております。

Ⅲ. 今後の予定・方針

わが国では4ヶ月と1歳6ヶ月、3歳児検診は無料で受診できることもあり、3歳児検診のデータを用いた先行研究は数多くあります。本研究においても、今年の4月以降は対象者が3歳になるので、調査結果を他の研究データなどと比較するためにも4月から5回目のフォローアップ調査を実施する必要があると考えています。そのための質問票にどのような質問項目を含めるべきなのか検討する必要があります。

対象者から頻繁に尋ねられる質問として、「本研究をいつまで実施する予定なのか」、「調査はどのくらいの間隔で続けられるのか」といった今後の研究の予定に関することが挙げられます。また、「調査結果を教えてください」といった結果や何らかの資料を期待する声も高まりつつあります。これらのことも踏まえて、現在5回目のフォローアップ調査時に対象者に対して配布できるようなフィードバック資料の作成を検討しております。

今日の議題



妊娠・出産状況がその後の母子の健康に与える影響に関する研究

平成16年度研究会議



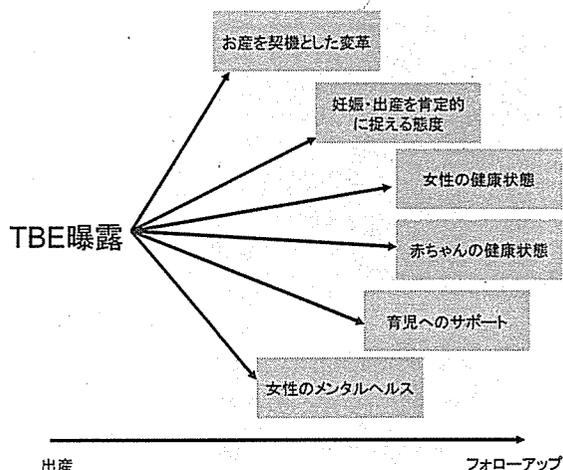
三砂ちづる1,2,野口真貴子2,8, 嶋根卓也2,9,竹原健二2,福島富士子3,菅原ますみ4, 竹内正人5,丹後俊郎6, 榎原洋一7, 小林秀資10

1津田塾大学国際関係学科、2国立保健医療科学院疫学部、3国立保健医療科学院公衆衛生看護部、4お茶の水女子大学文教育学部、5葛飾赤十字産院、6国立保健医療科学院技術評価部、7お茶の水女子大学子ども発達教育研究センター、8東京大学大学院国際保健計画学、9順天堂大学医学部衛生学、10長寿科学財団

- 三砂あいさつ
- 調査の現状
- 主な調査結果の紹介
- 質疑応答
- 今後の課題

表1. 出産施設別にみたコホート参加者

施設	ベースライン	4ヶ月	8ヶ月
	合計	合計	合計
A助産院	42 (3.5)	39 (4.0)	32 (3.9)
K助産院	76 (6.4)	75 (7.8)	51 (6.2)
Y助産院	210 (17.6)	186 (19.2)	168 (20.4)
T助産院	69 (5.8)	58 (6.0)	50 (6.1)
K病院	793 (66.6)	609 (63.0)	521 (63.4)
合計	1190 (100.0)	967 (100.0)	822 (100.0)



TBE-scale

変革につながるような出産経験TBE-scale(27項目)

1. お産の間、自分のペース、リズムが感じられましたか	1はい	2いいえ
2. お産の間、自分の体の感覚がよくわかりましたか	1はい	2いいえ
3. お産で自分をコントロールできたと感じましたか	1はい	2いいえ
4. お産の間、自分を癒えることができましたか	1はい	2いいえ
5. お産の間、自分の体の中で起きていることがわかりましたか	1はい	2いいえ
6. お産の間、気持ちはずっとリラックスしていましたか	1はい	2いいえ
7. お産は、楽しかったですか	1はい	2いいえ
8. お産は気持ちよかったですか	1はい	2いいえ
9. お産の間は、幸せな気持ちでしたか	1はい	2いいえ
10. お産の後、もっと産みたいと思いましたか	1はい	2いいえ
11. お産の間、自分の境界線がないような気持ちになりましたか	1はい	2いいえ
12. お産をしたことは、自分の世間体のような感じがしましたか	1はい	2いいえ
13. 何か大きな力が働いていて、それに動かされているような気がしましたか	1はい	2いいえ
14. お産の間、宇宙の塵として漂っているような感じがありましたか	1はい	2いいえ
15. お産の間、どこにいても行けてどこにでも入りこめるような感じがしましたか	1はい	2いいえ
16. お産の間、こんなことしていただこうと自分の行動に驚きましたか	1はい	2いいえ
17. お産は、自分を見つめることだと感じましたか	1はい	2いいえ
18. 産んだ直後、自然にうれしさの涙がでましたか	1はい	2いいえ
19. お産をしたことで満たされたという感覚がありましたか	1はい	2いいえ
20. 生まれて直ぐの赤ちゃんをかわいいと思いましたか	1はい	2いいえ
21. お産をしたことで、ありがたさという感謝の気持ちが湧き上がりましたか	1はい	2いいえ
22. お産をした直後は、すっかりとした爽快感がありましたか	1はい	2いいえ
23. 生まれたすぐ後、赤ちゃんにただ没頭するような瞬間がありましたか	1はい	2いいえ
24. お産の間、自然に出てくる声を無理に抑え出す必要がありましたか	1はい	2いいえ
25. お産の間、喜怒哀楽の感情をそのまま出せましたか	1はい	2いいえ
26. お産の時にありのままの自分を認めたと思いますか	1はい	2いいえ
27. お産が違っていて、周りに気を使わなくなりましたか	1はい	2いいえ

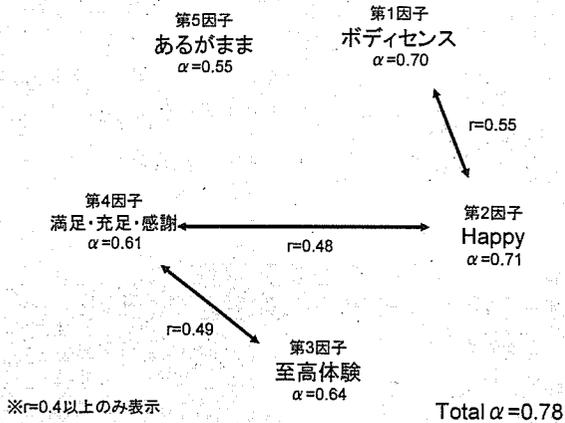
はい=1点、いいえ=0点として、27項目を合計する。16/17がTBE cutoff値

TBE値

尺度の目的	変革につながるような出産経験を測ること
下位因子	①ボディセンス、②Happy、③至高体験、④満足・充足・感謝、⑤あるがまま
質問項目数	27項目
回答	「はい」または「いいえ」
調査形式	トレーニングを受けた調査員による面接調査
所要時間	20-30分?
スコアリング	はい=1点、いいえ=0点として単純加算
判定	16/17をcutoff値*とし、17点以上をTBEとする

*ベースラインの質問項目に含まれる「女性の変革に関する項目」を外的基準とし、ROC曲線を描いた。感度=0.730、1-特異度=0.373となる16.5をcutoffと設定した。

図1.TBE-scaleの因子構造



育児へのサポート

- TBE群は対照群よりもパートナーが育児を気遣ってくれている割合が高い
- TBE群93.3%>対照群90.2%(4ヶ月)
- TBE群93.2%>対照群88.0%(8ヶ月)

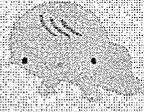


差がみられない項目

- 困った時に相談できる人や場所
- 育児サークルへの参加
- パートナーの育児参加度

赤ちゃんの健康状態

- 湿疹・ガサガサ
 - TBE群47.4%<対照群55.6%(4ヶ月)
- 目ヤニ
 - TBE群35.9%<対照群41.7%(4ヶ月)
- 発熱
 - TBE群26.6%<対照群32.7%(8ヶ月)
- 元気がない
 - TBE群10.4%<対照群14.6%(8ヶ月)



赤ちゃんの栄養

- TBE群は対照群と比べて「母乳のみ」の者が多い
- TBE群69.9%>対照群56.9%(4ヶ月)
- TBE群58.8%>対照群48.2%(8ヶ月)



妊娠・出産に対する態度

- TBE群は対照群と比べて妊娠・出産を肯定的に捉え、育児を楽しめる傾向がある
- 「また妊娠したい」、「いつでも帰っていける場所」
- 「一緒にいるのが楽しい」、「いつも抱いていたい」

お産を契機とした変革

- 家族との関係が変わった
- 段取りや企画力が出来た
- 自分にできる範囲がよくわかる
- 人とは比較せず自分は自分であると思う
- 子どもの住む社会や世界について考える
- 産み育てる女性への仲間意識を感じる
- 体にいいことや食事について考える
- 考えが豊かになった
- 視野が広がった
- 自然の大きさや大切さ



差がみられない項目

TBE群>対照群

- パートナーとの関係
- 実母との関係

女性の健康状態

- 会陰切開後の痛み
 - TBE群11.1%<対照群15.8%(4ヶ月)
- 不安やイライラ
 - TBE群36.4%<対照群43.6%(4ヶ月)
- 気分の落ち込み
 - TBE群24.9%<対照群30.4%(4ヶ月)
- 排尿障害
 - TBE群1.6%<対照群3.6%(8ヶ月)
- 頭痛
 - TBE群22.4%<対照群28.5%(8ヶ月)



夫婦の愛情-Mrital Love尺度-

- TBE群は対照群よりも夫への愛情が強い
- TBE群26.6点>対照群25.3点(4ヶ月)
- TBE群26.2点>対照群24.6点(8ヶ月)



子どもへの虐待

産後のうつ病傾向-EPDS-

- TBE群と対照群との間に差はみられない
- TBE群12.6%vs対照群12.3%(4ヶ月)
- TBE群12.6%>対照群11.3%(8ヶ月)



考察

- TBE群は、対照群に比べ「女性の変革」を示唆する項目が有意に多い。(4ヶ月、8ヶ月)



曝露因子である「変革につながるような
出産経験“Transforming Birth Experience”」の
定義が妥当(予測妥当性)であることの裏づけ

今後の課題

- 交絡因子を調整した相対リスクの算出
 - 出産施設
 - 母の年齢
 - 出産歴
 - 夫婦間の愛情